

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和4年9月20日(2022.9.20)

【国際公開番号】WO2022/070816

【出願番号】特願2022-545386(P2022-545386)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2 / 4 4 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 F 2 9 9 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 F 2 / 4 4 A

C 0 8 F 2 9 9 / 0 8

C 0 8 F 2 9 0 / 0 6

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月26日(2022.7.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カルボキシル基を有するエポキシ(メタ)アクリレート(a1)及び不飽和単量体(a2)を必須成分とする樹脂成分(A)と、増粘剤(B)と、光重合開始剤(C)とを含有する光硬化型ライニング材用樹脂組成物であって、前記樹脂成分(A)の屈折率が1.530~1.550の範囲であり、前記増粘剤(B)が酸化マグネシウムであることを特徴とする光硬化型ライニング材用樹脂組成物。

【請求項2】

30

前記カルボキシル基を有するエポキシ(メタ)アクリレート(a1)と前記不飽和単量体(a2)との質量比(a1/a2)が、25/75~75/25の範囲である請求項1記載の光硬化型ライニング材用樹脂組成物。

【請求項3】

前記カルボキシル基を有するエポキシ(メタ)アクリレート(a1)が、エポキシ(メタ)アクリレートと二塩基酸との反応物である請求項1又は2記載の光硬化型ライニング材用樹脂組成物。

【請求項4】

前記不飽和単量体(a2)が、多官能(メタ)アクリレートを含むものである請求項1~3いずれか1項記載の光硬化型ライニング材用樹脂組成物。

40

【請求項5】

請求項1~4のいずれか1項記載の光硬化型ライニング材用樹脂組成物、及びガラス繊維強化材を含有することを特徴とする光硬化型ライニング材。

【請求項6】

請求項5記載の光硬化型ライニング材の硬化物。

50